

有限会社ゼムケンサービス（福岡県北九州市）

【一般建築業、一級建築事務所
住宅・店舗の設計・施工、デザイン、
コンサルティング】



LEADER

代表取締役 籠田 淳子 氏

商工会議所のイテオン

「女性力をビジネスに！」
籠田代表の取組をご紹介します

男性中心の職場が多い建築業界にあって、女性を積極的に雇用している有限会社ゼムケンサービス。設計・デザイン分野では珍しいワークシェアリングに早くから取り組み、女性社員がそれぞれの事情に合わせて働ける仕組みを構築。店舗や住宅づくり、工務店サポートなど、女性の視点を生かした企業活動を展開し、注目を集めている。

「女性力」をビジネスに活かし、5年で売上倍増！ 業界の常識を打ち破り、「女性建築デザインチーム」を結成

■背景・きっかけ：育児をしながらも働ける職場をつくりたい

籠田代表取締役は、母親が代表を務めていた同社を平成12年に継いだ時、生まれたばかりの乳飲み子を抱えていた。「1人親方」として育児に追われながら仕事に取り組む日々が一段落したところ、事業の拡大に向けて社員を募集。すると「女性社長の会社」に魅力を感じてか、応募者の大半が女性であった。子育てをしながら仕事を続けた経験から、建築業界であっても女性が働きやすい雇用形態があってもいいのではないかと、思いを巡らすようになった。

■取組内容・効果：マイナスをプラスに変える

平成17年、「2人で1人前以上の仕事をしてほしい」と、女性技術者を2人（一級建築士とインテリアデザイナーの主婦）を採用。ワークシェアリングを導入し、2人で一つの仕事を担当する裁量労働制とした。1人が描いた図面をネットワークで繋がった共有フォルダに入れ、もう1人がそこから図面を取り出して完成させる。その際、お互いがどんな意図で設計したのか分かるように、業務日誌をつけ、自由に閲覧できるようにした。さらに社員同士のコミュニケーションを円滑にするため、昼休みを2時間とり、昼食を共にしながら、何でも気兼ねなく話せる機会を設けた。現在は、子育て期間中の女性と独身者など、敢えて異なる状況の2人を組み合わせ、様々な視点から仕事を行うことで、多様なニーズを捉えることができるようになった。

女性の働きやすい環境を整える傍ら、人材育成にも力を入れた。社員を集めて勉強会を開催し、取り上げたテーマをまとめた冊子「ゼムケン手帳」や、就業規則や企業理念、タイムマネジメント方法等と手帳を組み合わせた「ゼムケン手帳」を作成した。また毎年、社員に「自身の夢」を発表してもらう機会を作っている。子育て中の女性は、子どもや夫、家族の夢ばかりで、自身の夢を思い描くことができない人が多い。自身の夢を持つと、おのずと仕事にもやる気と活気が出る。籠田代表は、女性にも夢の実現のために仕事をしてほしいと考えている。

籠田代表は女性の活躍推進のためには、「評価」がポイントとなるという。女性は仕事の結果のみならず、その過程を重視する傾向があるため、そこも併せて評価することが重要である。せっかく管理職に抜擢しても、本人に自信がなければ、モチベーションが伴わない。

加えて、籠田代表は、男性と女性の社員比率が3対7程度のバランスとなるよう配慮している。「女性力」を十分に活かすためには、それを支える「男性力」も欠かせないという。近年、籠田代表は社内に新たに「女性建築デザインチーム」を立ち上げた。「女性力」を全面に打ち出し、建築やデザインに強いこだわりを持つ女性客のニーズに柔軟に応えることで、5年で売上を倍増させた。



中小企業の実践ポイント

▶ 女性の活躍推進には、「自信」を引き出す「評価」を与えることが大切。女性はプロセス（過程）を重視する傾向があり、単に出世をしても本人の自信が伴わなければ、力を発揮することができない。



■今後の展望と課題：次に目指すはバーチャルオフィス

女性の働き方の進化形として、籠田代表は次に、バーチャルオフィス構想の実現を目指している。在宅でワークシェアし、ネットワークで繋がったバーチャルオフィスで管理をする。試験的に昨年8月から週1回の在宅勤務をスタートさせている。うまく機能するようになれば、遠方に住んでいる人や、子育てや介護で家を空けられない人でも、自在に仕事に関わることができると期待を寄せている。



↑26年度に内閣府「女性が輝く先進企業表彰」特命担当大臣賞を受賞

【企業データ】

代表者	代表取締役 籠田 淳子	会社設立年	1993年	従業員数	8人（うち女性5人）
本社所在地	福岡県北九州市小倉北区片野3-7-4	ホームページ	http://www.zmken.co.jp/top.html		
事業内容	一般建築業、一級建築事務所 住宅・店舗の設計・施工、デザイン、コンサルティング				